



きれいに咲きそ
った栃木校の玄関
先のツツジ。
6月1日撮影

関東地方もとうとう入梅し、アジ研も湿気の多いジメジメした季節を迎えています。教室では、「梅雨（にはいる・があげる）」「湿っぽい」「蒸し暑い」「ジメジメする」等の表現が積極的に導入されています。6月は、これらの表現を効率的に導入・定着させるには最適な月と言えます。

しかし、この時期は、不安定な天候・高い湿度・厳しい気温の変化など、来日直後の実習生の皆さんが、日本語学習及び寮での共同生活をスタートするには、決して恵まれた季節とは言えません。しかし、実習生の皆さんは、特に体調を崩すようなこともなく、毎日元気いっぱい学習に励んでおります。

なお、昨年からシリーズでお伝えしておりました「アジ研講師ファイル」は、先月号で日本語講師陣の紹介を、一通り終えさせて頂きました。現在アジ研には、12名の日本語講師が在籍しておりますが、これからも講師・スタッフ一丸となって、実習生の皆さんの「実践的な日本語会話力の育成」に取り組ませて頂きますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

会話テスト評価基準改定のお知らせ

これまで会話テストの評価基準はA～Eの5段階でした。しかし、このところ、特に会話テストI（講習初日に実施）において、Eレベル（ゆっくり話された基本的な質問になら何とか応じることが出来るレベル）にも達していない実習生が、目立つようになってきました。

そこで、実習生の皆さんの来日時の日本語会話力を、より正確に評価するために、新しい評価として、「E-」（イーマイナス）を新設させて頂くこととなりました。評価の目安は「ゆっくり話された基本的な質問にも応じることが出来ないレベル」となります。具体的には、自分の名前や年齢、家族構成などは何とか言えるが、時間・曜日・日付などを聞かれても、スムーズに答えることが出来ないレベルとなります。

今回の評価基準の改訂を踏まえ、実習生の皆様の日本語会話力の育成に、これまで以上に尽力していきたいと考えております。なお、新基準の採用は6月講習開始の実習生から、順次行なっていく予定です。



今月の実習生



今月は、ベトナム人実習生、ランさんを紹介します。ランさんは、大学で音楽を専攻し、一時ベトナムで音楽の先生をしていたことがあるそうです。自己紹介の時は、特技としてクラスメイトの前で、自慢の歌声を披露してくれました。ベトナム国歌を歌ってくれましたが、さすがは元音楽の先生、柔らかさの中にも力強さが感じられるその歌声は、素晴らしく、鳥肌が立つほどの感動でした。

ピアノ等の鍵盤楽器も演奏出来るそうですが、一番得意なのは、やはり歌だそうです。ちなみに、いつかはベトナムで日本語教師になることが夢だそうです。

ランさん、素晴らしい歌声を、どうもありがとうございました。



クラスメイトの前で歌を披露するランさん

ベトナム社会主義共和国出身：DUONG THI LAN さん（ランさん）

あじけん流日本語授業

今月のあじけん流日本語授業は、AV 機器を用いたちょっとユニークな単語の導入・練習方法をご紹介します。

普通、単語の導入・発音指導には「ピクチャーカード」と呼ばれる、単語の絵が描かれたカードを用いるのが一般的です。しかし、今回ご紹介するのは、紙に描かれた絵カードの変わりに、CDにデジタルデータを読み込ませ、それをテレビモニターに映し出すことで、単語を導入するいわば、「デジタルピクチャーカード」です。データは、実習生の皆さんが教材として用いている本校のオリジナル教材「実習生のための基本語彙集」です。

デジタル化したデータを、モニターに映し出すことで、講師はピクチャーカードを持ち替えたり、ホワイトボードに1枚ずつ貼り付ける作業から開放され、リモコンのボタン操作1つで、非常にテンポ良く、効率的に提示することが出来ます。講師は両手が自由に使えるため、身振り手振りを交えながら、より効果的に基本単語の意味用法を導入することも可能となります。また、どうしても単調になりがちな基本単語の学習ですが、この方法を用いることで、楽しみながら単語学習が出来、実習生のモチベーションも高められるため、学習効果も倍増します。



ボタン操作1つでスムーズに単語を提示。



ジェスチャーを交えながらのより分かりやすい単語導入。



学習者とアイコンタクトを図りながらの、指名。